

キーワードは協働 まちづくり活動を支援



▲現役のママたちが運営する「育児ひろばアプリコット」(平成17~20年度市民活動支援補助金対象団体)

市民活動 支援補助金

市民憲章の前文には「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」と織り込まれています。このフレーズにある「みんながつくる」は「協働」を、また「住みよさと活気あふれる甲賀市」は、「まちづくりの希望」を表現しています。

最近、市内各地域では、市民による自主的な取り組みが積極的に行われるようになり、市でも自主性のある公益的な活動を支援、協働によるまちづくりを推進しています。

その支援のひとつが市民活動支援補助金です。5月には、同補助金事業への申請をされた各団体の取り組みについて審査、今年度の対象事業が決まりました。今月号では、事業採択された団体を紹介します。



▲新宮神社で毎月開催中のげなげな市

●連絡先
今井 ☎ 82-00016
☎ 82-2814

信楽GIP(Good Idea Produce)は「信楽」の知名度と観光資源を活かして甲賀市観光の活性化を目的に設立しました。今年度、げなげな市を毎月第1日曜日開催することで、団体や職業の枠を超えた地域のコミュニティとしてひと昔前の銭湯や商店街に変わる市民の社交場の役割ができるのではないかと期待しています。

信楽GIP
観光資源を活かし、
まちの社交場づくり



▲イベント会場で水口ばやしを披露

●連絡先
吉村 ☎ 62-0177
☎ 62-0177

私たちが「大水口宿禰ツツ」は、水口曳山祭を核に若い世代が中心となってまち全体を盛り上げていく活動をしています。今年度は「若い力で歴史文化に誇りを持つまちを創ろう」をテーマとし、水口曳山祭に関連した勉強会を開催します。少しでも興味のある方、ご参加をお待ちしています。

大水口宿禰ツツ
若い力で まちが誇る
歴史・文化を伝承

●連絡先
墨田 ☎ 62-1959
☎ 63-1960

NPO法人「鹿深の杜」では、昨年度から市内の飲食店から使用済みの割りばしを回収、炭焼き用の釜で炭にし、オブジェとして、新名神パーキングエリア売店や道の駅あいの土山等で販売しています。器は信楽焼で、地元の知的障がい者訓練施設が制作、また知的障がい者通所授産施設が商品として完成までを担当し、環境と福祉の協力をめざして取り組んでいます。

●連絡先
奥野 ☎ 86-0541
☎ 86-0541

「おいしく、楽しく」を合い言葉に、口腔機能＝食へること、話すこと、呼吸をすることがなぜ大切なのかをわかりやすく、そして楽しく、お話やゲームで伝えています。子育てグループや高齢者のサロンへ出向いたり市民イベントに参加したりしています。食へることは生きること。歯つびい健口教室はこの世代にも通じるお話です。ご希望の方はお気軽にご連絡ください。



▲割りばし炭のオブジェを製作する福祉施設の皆さん

NPO法人「鹿深の杜」
割りばし炭オブジェで
環境と福祉の協力を

**皆さんの
健康づくりをお手伝い**
歯つびいすまいるの会



▲お口の健康を伝える劇を披露



▲しがらきの郷・歴史ボランティアガイドの案内で信楽焼陶房の見学に訪れた皆さん(陶芸の森)

●連絡先
小谷 ☎ 83-0440
☎ 83-0440

信楽焼は「日本八古窯」のひとつに数えられる伝統ある焼き物です。時代とともに生活様式が変化していますが、信楽焼が実用的・日用的な陶器であることを見つめ直し、多くの方へ信楽焼のよさ、陶器のすばらしさを知ってもらえるように工房や窯場などを見学します。また、ボランティアガイドの皆さんと協力し、信楽の歴史にもふれていきたいと思っています。

信楽焼を見直す会
伝統ある焼き物や
信楽の歴史にふれる



▲障がい者支援を学ぶための量販店で研修

●連絡先
上西 ☎ 75-0486
☎ 75-0486

盲ろう者に対する社会への理解を深め、支援者が一人でも増えるまちづくりのために活動の輪を広げています。協力くださった店舗がありましたらお気軽にご連絡ください。

盲ろうサークルふれんど
障がい者の豊かな
暮らしのために